

7、法則5：物語を面白くするセリフ術！

うまいセリフとは？

- ・日常的な言葉でリアルさを出す

（必要なことのみ言うのは、非日常的。ああ、とか、なんだよね、あれかな、とか、あれ取って！など意味のない言葉を差し込むことで、主人公のとまどい、迷いなど心情を描くことができる）

- ・説明台詞を書かない

セリフには、情報を伝えると情感を伝えるという二つの役割があります
説明過多なセリフは、物語を台無しにしてしまう

- ・会話のやりとりが、発展しているかを検証する

太郎、花子の会話の場合、太郎のセリフだけ抜き出してみる

太郎の気持ちに即して、セリフが階段を上がっているか

検証

セリフには、登場人物のキャラクターがのっかっている

太っているか、痩せているか、関東出身か、関西出身か、

どんなコンプレックスを持っているか、

全て、セリフで表現できる

常日頃、さまざまな年代、さまざまな職業のひとの会話に

耳をそばだて、メモしておく

「愛している」と言わないで「愛している」が伝わるのが

いいセリフ

「優しい」を「彼は寒そうにしている私の肩にジャケットをかけて

くれた・・・自分だって寒いのに」

というように具体的な映像、行為に翻訳する